

平成24年度第2回川崎市政策評価委員会 摘録

- 1 開催日時 平成24年7月27日(金) 午前15時00分～16時30分
- 2 開催場所 川崎市役所第3庁舎 15階 第1会議室
- 3 出席者 委員 高千穂委員長、垣内副委員長、生駒委員、川崎委員、野口委員、
安陪委員、長尾委員、松田委員
事務局 総合企画局都市経営部 金子部長
総合企画局都市経営部企画調整課 亀川課長
総合企画局都市経営部企画調整課 高橋担当課長
総務局行財政改革室 白鳥担当課長
財政局財政部財政課 斎藤担当課長
総合企画局都市経営部企画調整課
岸担当課長、鈴木担当係長、青木職員

4 議事

- (1) 平成23年度施策評価の検証結果について
- (2) 施策評価の改善に向けた取組について
- (3) その他

- 5 傍聴者 なし
- 6 会議内容

議事(1) 平成23年度施策評価の検証結果について

高千穂委員長) 事務局の説明に対して、御質問、御意見等があればお願いしたい。

松田委員) 平成18年度からの意見を時系列でまとめた資料を見ると、年々、市役所職員の意識が向上していることが理解できた。この検証では、分かりやすい表現ということについて言われているが、市役所の施策には、市民生活に密着して分かりやすい分野もあれば、港湾、道路関係のように、表現うんぬんというより、そもそも市民に理解しにくい分野というものもある。お金を使って行う施策である以上、こういう分野について、市民にしっかり理解してもらうことを考えていく必要がある。環境や駅などの施策は市民に理解してもらいやすいが、港湾分野は普通の市民には理解しにくい。そもそも分かりにくい分野があることを前提に、今後市民にとって理解しやすいものになるよう工夫することが必要である。

岸担当課長) 港湾に限らず、その他の事業でも市民に縁遠く、事業局としては市民への説明責任を果たしたつもりでも、分かりにくいものもある。そうした点は、それぞれの事業局には、事業を説明する際に注意するよう伝えていきたい。また、施策進行管理・評価票（以下「評価票」）へ記入するにあたり、市民に分かりにくい分野があることを大前提として認識していく必要があることについても、あらためて伝えてまいりたい。

長尾委員) この報告書の何か所かに、自治基本条例に基づいてという記述が登場するが、何条のことか。できれば、報告書上に具体的な条文を書いてほしい。

岸担当課長) 該当箇所を確認の上、該当条文を加筆することとしたい。

長尾委員) 資料1の6ページの「良」、「可」、「要改善」の判定基準について、簡単に記載されているが、各委員は検証マニュアルに記載された、より詳細な判定基準を用いて評価を行った。現在の案では抽象的なので、報告書には検証マニュアルの記載と同程度のことは書いてほしい。

岸担当課長) 書きぶりについては、検証マニュアルを踏まえて調整したい。

長尾委員) 7ページの「要改善」の数について、去年に比べて増えていることから、「良」や「可」だけでなく、「要改善」も強調してほしい。また、改善意見等が付いたチェックポイントについて、「良」、「可」、「要改善」の内訳を出してほしい。

岸担当課長) 御指摘を踏まえ、記述を修正することとしたい。

川崎委員) 長尾委員からご発言のあった、我々が準拠した判定基準については、昨年とあまり変わっていないと思うので盛り込んでいただきたい。ただ、同じ基準でやっているのに昨年に比べ「要改善」が増えたということについては、行政側の記述の仕方による部分もあるかもしれないが、委員が交代したことによる影響もありうる。こうしたことから、委員による判定結果について、前回と今回の数字を比較できるような表現ができないものか。割合や合計のところだけでも構わないので。

岸担当課長) 判定をいただくチェックポイントについては、昨年が1,480箇所、今回は1,200箇所に減ったが、「要改善」の件数はあまり減っておらず、割合が増えた。昨年と今年の割合を強調するような形で説明を加えたい。

安陪委員) 短い期間で、初めて見る評価票に対して検証を行ったことは、大変な作業であった。事務局と連携し、検証方法に対する理解をより高めていくことが必要である。

生駒委員) 政策評価委員会による改善意見等の要旨の過去からの経年変化を見て、似たような課題が申し送りされているように感じた。今年度の検討で過去に指摘されていない新しい課題が見つかったのか教えてほしい。また、過去には指摘されていた、職員への定着周知や指標の活用といった内容が、今年度は課題として整理されていないが、それらについては概ね対応が図られていると認識してよいのか。

岸担当課長) 新たな課題としては、目標の設定について不適切な表現があるといった改善意見を踏まえて、提言に入れさせていただいた。平成18年にも少し触れられていた部分ではあるが、これまで目標に関する視点はあまりなかった。2つ目の質問については、例えば、指標の活用については過去に比べるとアウトプットを含め指標設定率は高まっているが、これらの課題も完全にクリアできたというわけではない。今回は、相対的に優先順位の高い意見として、目標の記述や、チェック力の向上、改善意見の定着を取り上げさせていただいた。

生駒委員) 組織的なチェック力の向上という課題・取組方向については、過去の政策評価委員会による改善意見も、今回も、そのチェックの対象が評価内容となっている。今後の課題と取組の方向性の(1)では、評価の前段にある目標について見つめ直すという趣旨が示されている。これを踏まえると、目標設定についてもチェック力の向上を期するべきなのかなと思う。

岸担当課長) 議題2にも関連するが、チェック力の向上に向けて総務局、財政局、総合企画局と連携したチェックの中に、目標設定についてのチェックを取りこむことも検討していきたい。

高千穂委員長) フィードバックの効率の向上という観点が必要。市民がやってほしいことについては議会制度を通して間接的に施策・事業に反映されるが、その施策・事業について評価報告書等を通して、市民に「確かにやっているな」という感覚を持ってもらう必要がある。行政に対するファンづくりとも言える。評価について説明責任を果たした結果、理解を十分深められるかという

ところまで進めていくのが、将来のあり方ではないかと思う。

議事（２）施策評価の改善に向けた取組について

高千穂委員長）事務局の説明に対して、御質問、御意見等があればお願いしたい。

松田委員）資料２のスケジュールの中で、報告書を公表した後の市民の反応についてのフィードバックのプロセスが読み取れないように思う。

岸担当課長）８月下旬に報告書を公表した後、市政だよりやホームページなどを用いて１０月末まで市民に対して意見募集を行い、市民から寄せられた改善意見については次年度の施策・事業の実施で改善されるよう対応していくこととしているので、資料２にもその点を加筆する。

松田委員）報告書を市役所において、市民に見てくれといっても、意見は出てこない。広くあまねく見てもらい、意見を出してもらうために、新しい手法について考えているか。

岸担当課長）町内会の回覧板を用いて周知する方法が使えないか検討しているが、手続き、予算などの問題もあり、研究中である。

野口委員）過去に、毎年、市民意見募集ではどれくらい意見が来ているのか。

事務局）昨年度は１３件の意見があった。ここ数年は１０件程度である。

議事（３）その他

事務局）意見書については、本日御指摘頂いた点を踏まえ、事務局で整理し修正案を作成の上、委員長に確認した上で、各委員に御確認いただき、最終案を取りまとめる手順を進めていきたいと思う。本日早速修正作業に入るなので、スケジュールの関係上、８月１日ごろには確認をお願いしたい。

長尾委員）資料２のスケジュールについて、委員の意見を事業局に返して、各事業局が修正、対応した内容を私たちが確認できるのはいつか。

岸担当課長）１１月の第３回委員会を予定している。

垣内委員) 参考資料を見ると、最初のころは検証マニュアル作りとか形式的なところの整理から入り、検討を積み重ねる中で、中身が深まっている経過が読み取れる。私たちが準拠した検証マニュアルや参考資料等は、報告書につけていただけなのか。

岸担当課長) 本文の5～6ページの記述は多少の肉付けを検討しつつ、検証マニュアル等は参考資料として掲載する。

垣内委員) 現在の案では、図表2には「参考指標による説明があるけれども成果の説明がない」などの記載があるが、前回の政策評価委員会における委員からの発言を踏まえて、「要改善」の判定理由をほかにもいくつか具体的に例示すると、なぜ「要改善」が増えたのか、今後どうしたらよいかの分かりやすいのではないかと。政策評価は結果と同様にプロセスが重要であるから、何故ダメだったのかということをよく理解してもらえるようにしておく必要があるのではないかと。

一方で、評価に手間と時間をかけすぎることにより、本務に支障をきたす現実があることから、バランスをとることが大事だと思う。

高千穂委員長) 評価は精緻にやればやるほど時間も手間もかかる。評価というのは、それを活用して事業がよくなることが眼目である。本務が良くなる前に疲れ果てて何もできなくなるとは本末転倒である。難しいテーマであるが、引き続き、取り組んでいく必要がある。

川崎委員) 次回の政策評価委員会の議題は、今年度分の検証に対する各事業局へのフィードバック結果の報告と、来年度の検証に向けた検証手法づくりとなると思うが、過去の検証基準一覧やチェックポイント別判定結果一覧を提示してほしい。検証マニュアルの書きぶりの変化なども検証してはどうか。

高千穂委員長) 対応をお願いしたい。